

報告ダイジェスト

- ・工房ぱれっと HOYA株式会社アイケア事業部様より受注 (報告1)
- ・自立支援協議会報告&告知 (報告2)
- ・ピアサポートネットしづや 講演会報告 (報告3)
- ・新人スタッフ挨拶 (報告4)

報告1 HOYA 株式会社アイケア事業部様より受注

この度、工房ぱれっとは開所以来初となる大量の注文を HOYA 株式会社アイケア事業部様より頂きました。その数はなんと 2000 個です！これは以前よりおかし屋ぱれっとがご注文を頂き、お世話になっている株式会社研進様のご紹介によってつながった注文です。非常に光栄であり、心から感謝申し上げます。

●アイシティ eco プロジェクトとは？

HOYA 株式会社様が全国に店舗を構えるコンタクトレンズショップ“アイシティ”を皆さんもきっと耳にしたことがあると思いますが、そこで取り組んでいるのが(※)「アイシティ eco プロジェクト」です。コンタクトレンズの空ケースの回収を呼びかけ、再資源化することで焼却処分による CO₂ 排出量を削減し、その対価を、再び視力を取り戻したいと願う方たちのために役立てています。

さらに空ケースを持参したお客様に配布するノベルティグッズに全国の福祉作業所の製品を採用しています。つまり地球環境への貢献のみならず、社会貢献にもなる活動なのです。そのノベルティグッズの製作に工房ぱれっともぜひ挑戦してみたい！とオリジナルの“ウッドクリップ”をエントリーしました。



【分担して色付け。
細かい作業に集中！】

●そして見事に審査を通過、製作へ

受注が決定した喜び、そして初めて感じる重圧の大きさに「大丈夫かな…」というメンバーの声もありました。しかし心配を吹き飛ばしてくれたのは、想定以上のメンバー達の作業への順応性とスピードです。なんと最初の3日間で取り付けるパーツの緻密なカットを分担して全て終わらせることができました。その後もクリップに色を付けていく工程、一つずつ顔を描く工程等、メンバー達の集中力には目を見張るものがありました。製作開始から約3ヶ月、彼ら自身も新たな作業を習得し自信をつけ、現在は無事製作を終え検品に入っています。これらは全国のアイシティで10月初旬より配布予定です。コンタクトレンズを使用している方はこのプロジェクトにぜひ参加してみてくださいね。

(工房ぱれっとと職員 玉井七恵)

(※)詳しくは <http://www.eyecity.jp/eco/> をご覧ください。

報告2 2015年度渋谷区自立支援協議会「福祉計画部会」

渋谷区の障害者自立支援協議会の下部組織である、3つの専門部会の一つ『福祉計画部会』の主目的は、渋谷区第4期障害福祉計画(平成27年度より3年計画)の策定でした。通常、調査分析から計画策定まで2年を要しますが、渋谷区では1年という限られた期間の中で作業が進められました。部会長並びに部会メンバーの並々ならぬ努力により平成27年3月に計画書が完成しました。

今年4月より計画書の施行が始まりましたが、計画の進み具合をチェックし、単なるデータ集積だけでなくそこから見えてくる課題分析、福祉の現場や家族が抱える日常的な課題と計画内容がリンクしているか、していなければ次期計画に活かすデータとして残す等、渋谷区のシンクタンク的な役割も『福祉計画部会』が担っています。具体的にアンケート調査やヒアリングを行なうなど、時間をかけて一つひとつ丁寧に進める事の重要性は、前回の反省からも上がっています。手弁当で集う各部会メンバーの熱い想いが、障がいのある人達が安心して地域で暮らせる社会の実現に向けて大きな力になると信じて止みません。(ぱれっとホーム施設長 菅原睦子)

お知らせ 自立支援協議会主催のシンポジウムが下記開催されます
 <内容>「サービス等利用計画」と「基幹型相談支援センター」について考える
 <日時>9月24日(木)9時30分~11時50分 <場所>渋谷区文化総合センター大和田

報告3

地域支援者向け講習会報告 ~若者の自立を支えるための地域の連携~

7月23日(木)、東京都主催の「地域支援者向け講習会」が行なわれました。これは、地域の中で若者支援をしている方を対象に、地域、民間支援機関、公的機関の連携による支援の在り方を共に考えていくことを目的に開催されました。講演者は、恵比寿に拠点を構え、ひきこもりやニートの支援を行なう「NPO法人ピアサポート ネットしぶや」の理事長、相川良子氏でした。都内の15歳~34歳の若者の内、「ひきこもり状態」にある人数は推計2万5千人と言われていたようですが、実際はもっと多くの若者がひきこもり状態にあると言われていました。「子どもの問題は親の責任」という意識の強い日本では、家庭内の問題を家族だけで抱え込む傾向にあるため潜在化し、支援に繋がりにくいことがあげられていました。ひきこもりに限らず、地域コミュニティの崩壊が問題視されている都会では特に、地域の中で孤立しがちな高齢者や障がいの課題などは顕在化しづらくなりつつあります。そしてそれが原因で起こる命に関わる問題も少なくありません。

こうした状況の中、ぱれっとはまさに今、地域の人同士が出会い、繋がり、顔の見える関係が持てる新しい拠点作りに取り組んでいます。地域社会の中でぱれっとが果たせる役割は何か。学びと議論が続きます。(たまり場ぱれっと職員 左右木歩)

報告4 よろしくお願ひします！—新スタッフ紹介—

にし かわ ひさ え

ぱれっと事務局パート職員 西川寿恵さん



ぱれっとつうしんをご覧の皆様、初めまして、^{にしかわひさ}西川寿恵と申します。今回のつうしんで、新人(?)挨拶をお願いされ、苦手な文章を書いています。今年の6月より事務局にて働かせて頂き早くも3か月が過ぎました。何も分からず入ったぱれっとの世界。毎日目が回るほどの忙しさでしたが、今では少し落ち着いて仕事に取り組む事が出来る様になって来ました。つうしんの原稿作成・印刷・発送も今回で2回目。皆様の元に無事届いていることを祈ります。

最近では、10月18日に行なわれるバザーの実行委員になり、またしても何も分からない未知の世界に突入です。と共に、初めてのバザーを楽しみにしています。

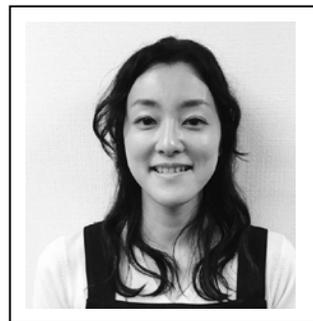
私は、ぱれっとより徒歩1分の場所に暮らしています。今まで地元住民として何も関わらずにいた為、何かお手伝いできる事はないかと思ひぱれっとに入りました。これからもその思いを忘れず、皆様により良いサポートが出来る様務めさせて頂きます。これからもよろしくお願ひいたします。

余談ですが、来年新事務所になると通勤時間が5倍以上(!)になる事が最近の悩みです。

むらい さわ こ

工房ぱれっと新職員 村井沙和子さん

この度、工房ぱれっとの職員になりました^{むらいさわ}村井沙和子と申します。私は以前、えびす・ぱれっとホームで働いていました。退職後いくつかの施設勤務を経験しておよそ7年、またぱれっとに戻ってお仕事をさせて頂いていただけることになり、本当にうれしく思っています。以前からの顔ぶれの皆さんとまた一緒に働けることや、これから新たな出会いがたくさん待っていること、そのどちらにもワクワクしています。ぱれっとを離れていた間に自分なりに経験したことや学んだことを活かしながら、また、工房ぱれっとのような創作活動をする場というのは初めての経験なので、一から勉強する気持ちでがんばっていきたくです。



自己紹介として、私の趣味を紹介させていただきたいと思ひます。私の趣味は「歩くこと」です。ぶらぶらお散歩や、運動としてのウォーキング、山登り(初心者ですが)などとにかく何でも、歩いている時が幸せです。先日は尾瀬に行き、山小屋に泊まりながら二日間ひたすら歩き続けたのがいい思い出になりました。これからますます歩くのにはいい季節になるので、皆さんのおすすめの間所がありましたらぜひ教えてください。